

ミシガン州立大学連合日本センター
長寿命化計画
(個別施設計画)

平成29年12月
滋賀県観光交流局

施設の概要

基準日:平成29年8月時点

基本情報									
施設名称 (愛称)	ミシガン州立大学連合日本センター (JCMU)								
HPアドレス	http://www.jcmu.net	(建物外観等)							
電話番号	0749-26-3400	 							
所在地	彦根市松原町1435-86								
設置目的	「ミシガン州立大学連合日本センター設立に関する協定」(1988年9月19日) 「ミシガン州立大学連合日本センター推進に関する覚書」(1988年9月20日) に基づき両県州の友好交流推進および県の国際交流の拠点として設置。								
所管	部局						商工観光労働部		
	課等	観光交流局							
設置年月	平成2年9月								
土地	敷地面積	14,794 m ²	避難所指定等	—					
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等	—					
	用途地域	—	文化財指定	—					
建物	延床面積	5,448 m ²	再生エネルギー等	—					
	取得価額	15億5600万円	自家発電設備	有 ※ただし緊急消火設備用電源として					
運営	運営方法	委託	バリアフリー	障害者用エレベーター	有				
	運営時間	8:30~17:15		多目的トイレ	有				
	休館日	日祝日、年末年始		オストメイト対応トイレ	無				
駐車台数	71台		車いす使用者用駐車場	2台					
特記事項									
施設概要									
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考			
センター棟	鉄筋コンクリート	H2. 9	2,785 m ²	2	新耐震				
宿舎棟	鉄筋コンクリート		2,663 m ²	2	新耐震				
成果情報									
	H26	H27	H28	3カ年平均	備考				
利用可能日数	296	296	297	296.3	※日祝日を除き開館				
年間利用人数	2,673	3,133	2,244	2,683.3					
1日あたり利用人数	9.0304054	10.584459	7.5555556	9.1					
年間収入 (単位:千円)	171,089	165,944	163,471	166,834.7					
1日あたり収入 (単位:千円)	578	561	550	563.0					
コスト情報									
	H26	H27	H28	3カ年平均	備考				
収入	7,676,391	7,926,472	8,396,277	7,999,713.3					
ミシガン州立大学日本センター施設利用収入	7,676,391	7,926,472	8,396,277	7,999,713.3	施設および駐車スペース				
支出	45,331,875	40,784,805	46,002,454	44,039,711.3					
ミシガン州立大学日本センター管理運営事業委託料	45,331,875	40,784,805	46,002,454	44,039,711.3					
収支	-37,655,484	-32,858,333	-37,606,177	-36,039,998.0					
資産老朽化比率(※)	73.1%	73.8%	74.6%						

※減価償却累計額/(有形固定資産合計-土地+減価償却累計額)

1. 策定の趣旨

本計画は、インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日)および滋賀県公共施設等マネジメント基本方針(平成28年3月、以下「基本方針」という。)に基づき、戦略的な維持管理・更新等を推進するため、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として策定するものです。

2. 対象施設

ミシガン州立大学連合日本センター センター棟及び宿舎棟

滋賀県公共施設等マネジメント基本方針における「3施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」の「1. 庁舎等」にかかる建築物およびその付帯施設。

3. 計画期間

定期点検サイクル等を考慮の上、可能な限り計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図るため、平成29年度から平成38年度までの10年間とする。

4. 個別施設の状況等

(1)施設の劣化・損傷の状況や要因等

センター棟および宿舎棟は建築後27年(平成29年時点)を経過し、経年による老朽化が進行している。

(2)点検・診断の実施方針

「滋賀県県有施設点検マニュアル」に基づき毎年点検を行うほか、建築基準法第12条第2項および第4項による定期点検、その他建築設備の法定点検等の結果に基づき施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

また、建築物の老朽化の進行や安全性に影響を及ぼす恐れのある設備についても、併せて劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

さらに、長寿命化対象施設であるセンター棟と宿舎棟は、技術職員による各部位の点検調査結果に基づき、予防保全対象部位※の修繕や更新の必要性、緊急性等を踏まえた長寿命化対策の必要性を見極め、長寿命化に必要な工事内容や時期を「長期保全計画」として取りまとめている。

なお、長期保全計画については、上記の内容を踏まえ、必要な時期に適切に見直しを行うものとする。

※予防保全対象部位・・「滋賀県長寿命化ガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)に基づき、長寿命化施設において予防保全工事の実施対象としている部位

(3)その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

5. 対策の優先順位の考え方

(1)目標使用年数

長寿命化対象施設については、ガイドラインに基づき目標使用年数を65年とする。

(2)当該施設が果たしている役割等を踏まえた優先順位の考え方

当該施設は、滋賀県とミシガン州との姉妹提携20周年を記念して設立され、両県州の友好関係の発展に寄与すると共に、双方の人々がともに学習・研究をする場、相互理解を深める場、さらに広く地域に開かれた国際教育の拠点として機能しているのもであることから、長寿命化対策を行うものとする。

多くの人々が集まる場であり、宿泊施設も備えているため、建物の修繕と機械設備にかかる各種対策を優先とする。

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

6. 対策内容と実施時期

(1)基本的な方針

「現状や課題に関する基本認識」を踏まえ、施設の長寿命化を柱とした取組を総合的に推進し、将来の更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

(2)取組方針

①点検・診断等

- ・劣化状況や不具合状況の的確な把握が重要であることから、法定点検に加えて、全庁的に活用可能な「県有施設点検マニュアル」を策定のうえ点検を徹底し、劣化や不具合の進行可能性や施設に与える影響などについて評価(診断)を行う。
- ・また、点検・診断等の結果を適切に集積し、施設の維持管理・修繕・更新等への反映させることで、公共施設における「メンテナンスサイクル」を確立する。
- ・施設点検調査を実施し、経年による劣化状況や外的負荷(気候天候、使用特性等)による建物性能の低下状況やこれまでの維持管理の状況等を踏まえた長期保全計画を作成する。

②安全確保

- ・公共施設の管理においては、県民・利用者の安全確保を最重要事項として認識のうえ、点検・診断を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行う。
- ・老朽化等により供用廃止され、かつ今後も利用見込みのない公共施設は、危険性が生じることがないように適切に処分・除却等を進める

③耐震化

- ・新耐震の建物であることから耐震化済み。

④施設総量の適正化

ミシガン州立大学連合日本センターについては施設評価(H27.10公表)により存続する施設として位置づけられている。今後も国際化の進展等による施設ニーズ、施設の利用状況、建物性能、維持管理費、政策的必要性等を踏まえ、施設の維持管理を継続的に実施する。

⑤長寿命化

- ・長寿命化対策の取組の方向性や考え方をまとめた「県有施設長寿命化ガイドライン」に基づき、長寿命化対象施設の「長期保全計画」を作成し、中長期的かつ計画的に予防保全を実施することで、長寿命化を図る。また、長寿命化対策の実施時期が集中しないよう実施時期を適切に調整し、財政負担の平準化を図る。
- ・「県有施設点検マニュアル」に基づく施設の点検実施により、不具合箇所や劣化状況の早期の把握・対応を行うことで、可能な限り長寿命化を図る。

⑥維持管理・修繕・更新等

- ・施設の安全性や施設の運営に支障をきたすことのないよう、適切に維持管理・修繕等を実施する。
- ・施設の更新(建替・改修)については、施設が果たす役割や将来ニーズ、費用対効果、劣化状況、財政負担の縮減・平準化の観点等を踏まえて事業の必要性や規模の縮小を基本としてつ適正規模等を十分見極めながら、計画的に更新の実施時期を調整することにより、財政負担の平準化を図る。

7. 対策費用

(1)長寿命化対策

(単位:百万円)

施設名	年次計画										
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	計
センター棟・ 宿舎棟	103.2	0.3	10.6	3.2	5.7	16.1	4.7	7.7	73.5	338.5	563.5
合計	103.2	0.3	10.6	3.2	5.7	16.1	4.7	7.7	73.5	338.5	563.5

主な対策

※「センター棟」、「宿舎棟」の対策の詳細については、「ミシガン州立大学連合日本センター施設長期保全計画」において記載。

(2)大規模改修

(単位:百万円)

施設名	年次計画										
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	計
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

主な対策

(3)その他の修繕

(単位:百万円)

施設名	年次計画										
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	計
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

主な対策

※対策費用については随時見直しを行う。

※この計画により予算が確定するものではない。

平成29年9月

8. 更新履歴

更新年月	更新した内容